

北海道医療新聞

2月10日
2017年・2163号
毎週金曜日発行
年間購読料19,500円
(前納/税込)
発行所
株式会社北海道医療新聞社
〒060-0042
札幌市中央区大通西6丁目
(北海道医師会館)
TEL 011(221)7777
www.medim.co.jp

3地域が取り組み紹介

多分野で幅広く活用

道ID-Link
ユーザー連絡会議

施設で運用を開始。参照施設は50施設へと広がっており、中でも薬局が30施設を占めている。
大日向主任は情報管理に
関する運用規定の改正や

誓約書作成などを行い安
全性に配慮したほか、急
激な施設増による接続
数の増加に対応するため
にテスト期間を設けるな
ど、ネットワーク拡大へ
の取り組みを説明した。

北海道ID-Link
ユーザー連絡会議が、手
稲区社会福祉協議会が
主催の「道ID-Link
活用促進会」を開催し、
高橋病院(函館市)の
滝沢礼子法人情報シス
テム室長は「道南地域
連医療連携協議会(道南
メディカ)、手稲区社会
福祉協議会(手稲区)の
清水信明経営管理
部渉外課課長が「TMN
IT in Hokkaido」、市立釧路総合
病院の大日向崇典医療連
携相談室主任が「メ
ディネットたんちゅう」の最
近のトピックスと取り組
みを紹介した。

が不可欠とし、患者・家
族も参加できるA3アセ
スマントを紹介した。
A3アセスマントは「
できるのか」ではなく、
「行っている事実」を記
録する手法で、基本動作
入浴など14項目にそれぞ
れ5点振り分け、70点満
点として評価する。患者
の状態の良し悪しが簡単
にわかるほか、小さな変
域全体での見守りに役立
つていると話した。

質の向上につながり、医
療と介護の両方で使える
などの利点がある。
現在、市立函館病院
高橋病院など4病院が導
入。医療・介護・生活支
援情報の一体型システム
「はるな」におけるA3
アセスマントの利用例を
紹介し、A3DL変化を地
域全体での見守りに役立
つていると話した。

一方、TMNIT
in Hokkaido
は、札幌手稲区支部の4
病院3診療所により、法
人の枠を超えて06年に発
足。対象を札幌市内外へ
と拡大しており、病院
診療所、老健等108施
設が加盟している。

清水課長は、診療場
面等での活用例を紹介し
た。栄養管理では手稲区
や近郊の医療機関に対
し、患者が転院後も統一
した視点で栄養管理を継
続するため、ネットワー
クを活用して栄養管理連
携書を提供。手稲区仁
会病院感染制御管理室で
は、連携病院から患者画
像を送信してもらい、そ
れを専門医らが診断し、
結果を伝えていくとい
う。

地方の基幹病院とも検
査・術後のフォローアッ
プ等で連携連携するなど
幅広く活用しており、広



道内各地からユーザーが集まった

道内各地からユーザーが集まった

